

# 「エリアフルセグ放送「南相馬チャンネル」を復興に役立てる」 「南相馬にはビジネスチャンスがある」 このことを世界に情報発信したい

## 桜井勝延 南相馬市長

被災地向けエリアフルセグ放送「南相馬チャンネル」((株)ヨースマーが運営)は、被災者のためのテレビ放送の新しい形として注目を集めている。南相馬チャンネルは実際に、東日本大震災と福島第一原発事故の被災者にどのように役立ち、復興の足掛かりとして期待されているのか。桜井勝延・南相馬市長に聞いた。

(取材・構成・写真:渡辺 元・本誌編集部)



桜井勝延・南相馬市長(写真右)は齊藤一雅「南相馬チャンネル」北陸地域映像提供実験支援協議会会長(総務省北陸総合通信局長／写真左)が提案した東日本復興チャンネル構想に賛同した(1月12日、南相馬市役所で取材)

### 映像と文字でわかりやすく 市民から喜ばれている

- 南相馬チャンネルは市民にどのように役立っていますか。
- 桜井 震災後、政権は政治主導、地域主権と言いながら全くできてない。こういうときだからこそ、地域からしっかりと情報発信し、地

域に必要なことは判断できる体制が必要だ。南相馬チャンネルは地域からの情報発信ができる。実際、視聴できるエリアの方々から喜ばれている。毎日必要な行政情報などを映像と文字で伝えているので、わかりやすいのだと思う。カバーしていないエリアからは「我々の所にも拡大できないの?」という要望がある。

- 南相馬市は原発事故による警戒区

域、計画的避難区域、沿岸部の津波被災地など、事情が異なる地域に分断されてしまいました。そのような市民間の相互理解を深める上でも、チャンネルが果たす役割があると思います。

- 桜井 これは大きいと思う。津波で被災された人たちと、山の放射線量の高い地域の人たちの感覚は全然違う。その人たちが一つの

### 世界に発信する「東日本復興チャンネル」へ

南相馬チャンネルはホワイトスペースを活用したエリア限定の被災地向けフルセグ放送だ。震災後の2011年7月に放送を開始した。フルセグ放送の視聴エリアは南相馬市の中心街(原町地区)のほか、市内の約8割の仮設住宅で視聴可能。視聴者は地デジの空きチャンネルに設定して視聴する。携帯電話でワンセグ放送も視聴できる。その他、北陸に避難した市民には、インターネット(アクトピラ)でも同じコンテンツを配信している。放送局(スタジオ)は原町地区にあり、(株)ヨースマーが運営している。番組はデータ放送と本線放送で構成。データ放送の内容は、市内各地の放射線量、お知らせ、市長からのメッセージ、休日当番医、病院・学校からのお知らせ。本線放送では、放射線に関する講座、相馬野馬追など市内の催し物、被災地域の状況、市長からのメッセージなどの映像を放送している。

南相馬チャンネルは今後、インターネット配信の視聴制限をはずし、日本中、世界中の人々に視聴してもらおうとともに、引き続き全国の避難者の人々には無償で視聴してもらう「全国展開」の

段階を経て、さらに、情報発信側を南相馬市以外の被災地に広げる「東日本復興チャンネル」に拡大していくことを計画している。この計画を推進する組織として、震災1周年の2012年3月11日に「東日本復興支援コンソーシアム(仮称)」が設立される予定だ。同コンソーシアムに南相馬チャンネル(いずれ東日本復興チャンネルに拡大)を支援・協力する企業等を結集するとともに、インターネット配信コンテンツに企業CSR広告を出稿してもらうことによって、南相馬チャンネルの運営費用や追加投資費用を賄う運営モデルを考えている。

計画の推進を主導している齊藤一雅「南相馬チャンネル」北陸地域映像提供実験支援協議会会長(総務省北陸総合通信局長)は、弊誌の桜井南相馬市長インタビューに同席。計画を桜井市長に説明し、賛同を得た。南相馬には被災地としての経験を活かしたビジネスチャンスがあるという桜井市長の指摘に応じて、齊藤会長は次のように語った。

「2011年11月、私はヨースマーの野口高志社

長と一緒に南相馬チャンネルの取り組みについて韓国で講演しました。そのとき、「ぜひデータストリーミングの技術で協力したい」と、IT系ベンチャー企業の社長さんから声を掛けられるなど、沢山の企業から大きな反響がありました。自社の技術やサービスで貢献したい、参加したいということです。まさに世界の人たちが「フクシマ」に注目し、南相馬をビジネスチャンスと見ていて感じました。市長がおっしゃるとおりで、「何かできるんじゃないか」とみんなが南相馬に期待しています。今後、南相馬で作られた災害対策や被災地復興に関する研究や事業のモデルは、将来同じような事態が発生したときに世界中で使えるものになります。これは未来の世代への贈り物だと思います。そして世界からいろいろなアイデアを取り込むことで、南相馬には市民が定住できるような希望が生まれます。桜井市長、今後南相馬チャンネルを全世界にオープン化したときの番組作り、コンテンツ作りのお知恵を貸してください。メディアは形だけでなく、中身が重要です。全世界に応援を呼びかけるメディアにしましょう」